

企業と社会フォーラム

第2回年次大会「持続可能な発展とイノベーション」

報告要旨 執筆要綱

謹 啓

第2回年次大会でのご報告、どうぞ宜しくお願い致します。以下の要領にて報告要旨のご執筆ならびにご提出をお願いします。

なお、本学会では紙の節減のため、ご報告資料の印刷・当日配布を致しません。その為、ご提出いただく資料を大会参加者が事前にダウンロードできるよう、参加者用パスワード付きで学会ホームページにアップ致します（アップロード期間は8/31（金）～10/30（火）の2ヶ月間を予定）。ご了解のほどお願い致します。

敬 具

記

I. 報告要旨の内容

【研究報告】 図表や参考文献一覧等を含め6,000字程度（Wordファイル、A4で4～5枚）

【ケーススタディ報告】 Power Pointファイル（10スライド程度、単なる事業紹介に終わらないよう、例えば下記のような構成でお願い致します

1. ケーススタディのタイトル、プロジェクトのリーダーとチーム名（or個人名）、ケーススタディ対象組織・領域、調査期間等
2. 組織情報、製品またはサービス、ケーススタディで扱った分野
3. 改善理由の記述（定義、調査、意思決定、プロジェクトマネジメントなど）
4. アプローチ／計画の記述と実践
5. 評価と結果の記述

II. 提出について

(1) 提出期限：2012年7月31日（火）

氏名、所属、連絡先（住所、電話番号、Fax、E-mail address等）を明記願います。

(2) 提出方法：研究報告はWordファイル、ケーススタディ報告はPPTファイルで作成。メールにファイル添付にて提出して下さい。

(3) 提出先：info@j-fbs.jp

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学商学大学院商学部 谷本研究室内
学会「企業と社会フォーラム」事務局

III. 執筆上の注意

① 書式について

書式は、日本語：フォントをMS明朝／英語：Times New Romanで10.5ポイントとし、天地・左右の余白はともに30mm以上あけて下さい。

② 項目の区分について

大項目 1. 2. 3. 4. …

中項目 1-1. 1-2. …2-1. 2-2. …

小項目 (1). (2). (3). …

③ 文章の表記について

- ・ 国名・地名・人名など：国名・地名・人名などは、原則としてカタカナ書き。
- ・ 数字：数字は算用数字を使用する。二桁以上の数字は半角数字。
- ・ 英字：英字は半角。
- ・ 年号：年号は、原則として西暦を使用。
- ・ 図および表について：図・表には、表題、注、出所、原典などを記入。表題は、表本体の上に表記。図と表は区別し、それぞれに通し番号を付ける。

刷り上り	1ページ大の図表	900字
刷り上り	1/2ページ大の図表	450字
刷り上り	1/4ページ大の図表	230字

- ・ 数式等が入る場合には、文字を指定する。例えば、大文字・小文字・上ツキ・下ツキ・ギリシャ文字など。

④ 注記について

注記は後注とする（本文の後、参考文献の前）。後注には通し番号をつける。(1)、(2)、

⑤ 引用文献一覧について

- ・ 著者－出版年発行方式（author-date方式）。
- ・ 論文末に、〈参考文献〉（ゴチック、左寄せ）の項目をたてる。
- ・ アルファベット順で、外国語文献と日本語文献に区別せず配列する。
- ・ 邦文文献の表記例

単行本：著者名（発行年）『書名』（シリーズ名）出版社。

分担執筆論文：執筆者名（発表年）「論文名」編者名『書名（論文集名）』、掲載ページ、出版社。

雑誌論文：執筆者名（発表年）「論文名」『雑誌名』巻号、掲載ページ。

- ・ 欧文文献の表記例

単行本（邦訳なし）：

著者名（発行年）書名【イタリック】、版次、出版地：出版社。

Post, J. E., Preston, L. E., and Sachs, S. (2002) *Redefining the Corporation: Stakeholder Management and Organizational Wealth*, Stanford, CA: Stanford University Press.

単行本（邦訳あり）：

著者名（発行年）書名【イタリック】版次、出版地：出版社。（訳者名『訳書名』出版社、発行年）

Peters, T.J and R.H. Waterman, Jr.(1982) *In Search of Excellence*, NY: Harper & Row.（大前研一訳『エクセレント・カンパニー 超優良企業の条件(上下)』講談社、1986年）

編著：

編著者名(Ed.)（発行年）書名【イタリック】（版次）、出版地：出版社。

Crimp, D. (Ed.) (1988) *AIDS: Cultural Analysis, Cultural Activism*, Cambridge, MA: MIT Press.

編著に収載された論文：

筆者名（発行年）論文名、In 編者名，書名【イタリック】、掲載ページ、出版地：出版社。

Caby, J. and Chousa, J.P. (2006) 'Voluntary Disclosure of Non-Financial Information and CSR',

in Allouche, J. (Ed.), *Corporate Social Responsibility*, pp.205-218, NY: Palgrave.

雑誌に掲載された論文：

筆者名（発行年） 論文名，雑誌名【イタリック】，巻号，掲載ページ.

Meyer, J. W. and Rowan, B. (1977) 'Institutionalized Organisations: Formal Structure as Myth and Ceremony', *American Journal of Sociology*, Vol.83 No.2, pp.340-363.

インターネット上のレポートなど：

機関名（発行年） Available at URL、Accessed 年月日.

World Economic Forum (2005). Available at <http://www.scribd.com/doc/6293582/>

World-Economic-Forum-Annual-Report-20042005 Accessed January 1st 2012.

- ・同一著者の文献が複数ある場合は、発表年順に置く、2行目以降著者名を繰り返さずに「-」を用いる、
- ・同一著者の同一発表年の文献には出版年の後に a、b、c などの添字をつける。

⑥ 文中の引用表記について

- ・文中の引用は、括弧内に記載するか、著者名を文章の一部として記載する。

例：○○の概念は△△と定義される (Schumpeter, 1934)。

例：Schumpeter (1934) によれば...

- ・著者が 2 人の場合： (Emerson and Twersky, 1996).
- ・著者が 3 人の場合： (Dees, Emerson, and Economy, 2001).
- ・著者が 4 人以上の場合： (Gordon et al., 2000).
- ・著者グループについては、氏名順、次に年代順に記載する

例：(James, 1987; 1999; Salamon, 1997; Scotchmaer and Benschoten, 1999).

- ・原文を引用記載する場合は、ページ番号も記載する： (Schumpeter, 1934, P.22).

- ・電子メールや会話、手紙などによる個人対個人のコミュニケーションについては、引用文献一覧には記載せず、本文中に記載すること

例：(John Bird 氏へのインタビューによる (The Big Issue Company Limited にて、2008 年 11 月 12 日)).

以上